

15 剣 道

1 期日・会場 ※開会式・試合開始時刻は、各地区の計画による。

[北信]	10月25日(土) 26日(日)	松代中学校体育館
[東信]	10月25日(土) 26日(日)	小諸市総合体育館
[中信]	10月25日(土) 26日(日)	ユメックスアリーナ
[南信]	10月25日(土) 26日(日)	伊那中学校体育館

2 競技方法

- (1) 競技は各地区の各種感染症の状況を考慮し、地区の実情に応じ地区の計画に準じて団体戦・個人戦を行う。
- (2) 団体戦において、男女とも監督1名、選手5名、補員2名以内とする。
- (3) 競技時間は原則 ①団体戦は3分・3本勝負 ②代表者戦を行う場合は3分1本勝負とし、勝敗が決しない場合は2分ずつの延長とする。③個人戦は3分3本勝負。勝敗が決しない場合は、2分ずつ区切り行う。④延長については、試合時間3分→延長2分→延長2分【小休止(深呼吸をする程度)】→延長2分→延長2分→【休憩(5分)】→試合の続く限り繰り返す。
【小休止】⇒開始線で10秒程度の深呼吸 【休憩】⇒立ったまま納刀し、待機場所に戻って面を外し、所定の場所です水分補給を行う。時間は5分とする。
- (4) 団体戦の勝敗は、①勝ち点 ②勝者数 ③取得本数 ④代表者戦によって決定する。
- (5) 竹刀は長さ 竹刀の長さは男女共に114cm以内、重さ男子440g以上、女子400g以上。先端部最小直径値は、男子25mm以上、女子24mm以上。ちくとうの最小直径値は、男子20mm以上、女子19mm以上。先革の長さは5cm以上。中結の位置は全長の1/4の位置とする。
- (6) 前垂れに名札をつける。ついていない選手は出場できない。学校名の場合は、「〇〇中」、地域クラブ活動の場合は、その団体名等を表記すること。
- (7) 道着の袖には所属団体名に関わる刺繍、ワッペンのみとする。他団体のものはつけないようにする。
- (8) 選手表(A4を横向きで2枚つなげた大きさ)を当日受付にて提出する。

団 体 名	名	名	名	名	名
	字	字	字	字	字

3 競技規定

- (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則、同細則、日本中体連申し合わせ事項、長野県中体連剣道申し合わせ事項、2024年9月改訂の「剣道試合・審判・運営要領の手引き」に準じて行う。
- (2) 中体連申し合わせ事項については、夏季大会に準ずる。

4 監督及び引率者について

- (1) 引率者・監督は当該校の校長・教員・部活動指導員※1とする。地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)の代表(指導)者とする。部活動指導員が引率者・監督を務める場合は、「参加申込書」の監督者及び引率者の欄に指示されている印を付け、必要事項を記入する。なお、部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。「※1」ここでいう「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者をいう。以下同じ。
- (2) 本大会においては、監督として外部指導者をおくことができる。外部指導者は、出場校の校長が適切であると認められた者とし、所定の「外部指導者 確認書(校長承認書)」に必要事項を記入し、参加申し込み時に提出する。但し、当外校以外の中学校教職員は、外部指導者にはなれない。また、同一人が複数校の外部指導者にはなれない。(地域スポーツ団体(地域クラブ活動)は該当しない)
- (3) 本連盟が主催する大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。(左記については別に定める対応に準拠する)

5 申し込み

申し込みは、各地区より出される実施要項の様式で、下記の各地区剣道専門委員長に提出する。

(各地区形式が異なるため、ホームページには掲載しません)

北信	安藤 晴樹(城北中)	東信	小林 純也(北御牧中)
中信	丸山 哲理(丘中)	南信	溝口 裕直(南箕輪中)

6 その他

- (1) 上記要項に準じて、各地区剣道専門部の実施計画に従って行う。(参加申込書も同様)